



キャンパスライフ

TOTTORI UNIVERSITY YONAGO CAMPUS

バックナンバーは
こちらから第56回
錦祭

令和6年11月1日(金)～11月3日(日)、医学部キャンパスにて第56回錦祭が開催されました。今年のテーマは『絶好鳥』。学生やご来場された方が絶好調で最高にしたいという意味と鳥取の”鳥“をかけたものです。当日は、模擬店やお笑いライブ、音楽系サークルコンサートなどさまざまなイベントが開かれました！

2日目はあいにくの天気です。屋内イベントの開催のみとなりましたが、大きな混乱もなく開催することが出来ました。4組の芸人さんによる爆笑お笑いライブでは、疲れが吹っ飛ばすほど大笑いしました！



錦祭最終日は、前日の大雨が嘘かのように晴天でたくさんの方にご来場いただきました。ここ3年間は、コロナや天候に恵まれず、屋外での開催が出来なかった団体もある中で、今年は模擬店やさまざまな企画などで大盛り上がりでした！



実行委員や大学・病院職員関係者、地域の皆さまの協力なしでは成功させることができなかったと思います。皆様の支えのおかげで無事に終えることができました。感謝申し上げます。

第56回錦祭実行委員長 藤本 百花



医学部での研究

若者の自殺予防にSNSは貢献できるか？

新型コロナウイルスによる社会情勢の影響もあり、若者の自殺率は2020年以降増加傾向にあります。若者にとって、インターネットやSNSは重要なツールであり、生活の一部と言っても過言ではありません。

しかし、SNSと精神的健康に関する研究では、SNSがポジティブな効果とネガティブな効果の両面をもつことが確認されています。私が現在取り組んでいる研究では、SNSが単なる情報発信に留まらず、心の拠り所や他者とのつながりを維持・増進する可能性に注目しています。この「居場所」の存在とそれを育み維持する取り組みは、自殺予防対策において重要な要因とされています。

本研究では、20代の大学生にアンケートを実施し、身近な「友人」や「家族」が居場所や相談相手として機能している場合、若者の精神的健康にポジティブな影響を与えることが確認されました。若者の自殺対策において、オフラインでの対人的な「つながり」を強化することが重要であり、SNSはその補強手段となり得ることが示唆されました。

今後は、調査結果をもとに、SNSを自殺予防に効果的に活用する具体的な対策を志向する予定で、若者の「つながり」を強化する取り組みを含めたプログラムの試行を計画しています。



臨床心理学専攻
太田 真貴 講師

詳しい
研究情報は
こちらを
チェック



授業風景

保健学科看護学専攻1年次後期に開講されている「生活援助論演習Ⅰ」。この授業では看護における基盤的知識・技術の習得を目的に、毎週さまざまな日常生活援助について演習をしながら学んでいます。今回は、身体の清潔を援助する技術のうち、「足浴」の演習にお邪魔させていただきました。学生は患者役と看護師役とに分かれ、実際に足を洗う援助動作を学びます。防水シーツの敷き方は？安楽な姿勢は？足の支え方は？お湯の温度は？患者さんの表情は？ワゴン・物品の置き場所は？などグループ内で意見を交換しながら、演習に臨んでいました。



読者アンケートにご協力ください



おかげ様で「キャンパスライフ」は30号を迎えることができました。これからもより良い紙面づくりのため、ぜひ皆様からの声をお聞かせください！

皆様からいただいた「取り上げてほしい内容」は、今後の発行号にて「いちコーナー」として取り上げさせていただきます！

さらに、ご回答いただいた方の中から抽選で5名様に鳥大オリジナルグッズ詰め合わせをプレゼント！

プレゼント応募締切
2025年3月31日(月)

アンケートの回答はこちらから



鳥取大学医学部公式 Instagram 開設しました！



Follow me

@tottori_uni_med

- ▶ イベント情報
- ▶ 学内情報
- ▶ 研究情報 etc...

